

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和元年11月18日（月）午後7時00分 ～ 8時30分
開 催 場 所	中部地区会館403会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：峰岸喬、諸橋泰樹、安島てつや、建部直哉、南葉子、高橋幸子、百瀬佑子 （事務局）協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主任
報 告 事 項	1 第四次男女共同参画計画の素案について
議 題	1 第三次男女共同参画計画の推進状況について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<p>報告事項1 第四次男女共同参画計画の素案について 重点事業を少し強調する オレンジの下地にオレンジの文字では少し見づらいので修正する。 表紙、世界・日本の動きのところは西暦を入れた方が良い。</p> <p>議題1 第三次男女共同参画計画の推進状況について 目標の立て方をもう少しわかりやすくした方が良い。 待機児童の件は、第四次計画に是非反映していただきたい。 重点事業の中で目標を達成できていないものが散見されるので、そこについてはできなかった理由を記載しておいた方が良い。</p> <p>議題2 その他 次回会議はパブリックコメント終了後の令和2年1月20日（月）に開催する予定。</p>
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）  （発信者） ◎印：委員長 ○印：副委員長 ●印：委員 □印：事務局	<p>報告事項1 第四次男女共同参画計画の素案について —事務局から説明— □ 今の報告事項について何かあるか。 ○ 紙の質と印刷でどうなるか。オレンジの下地にオレンジの文字では少し見づらい。また、要所で西暦を加えた方が良い。 □ 具体的にはどこに加えるか。 ○ 「表紙」「世界・日本の動き」である。P3～5まで。世界の動きと比較する場合には西暦を入れた方がわかりやすい。少なくとも第1章は西暦を入れてもらった方が良い。 □ 庁内調整を踏まえて、できる限りご指摘に沿えるように対応したい。 ◎ 重点事業があまり目立っていない。 ○ 少し強調したい。 ● 内容的には、良い。非常に発展しそうな内容である。 ◎ では、次に移りたい。</p> <p>議題1 第三次男女共同参画計画の推進状況について —事務局から説明— ◎ 基本目標1と基本目標2まで一度区切って、これまでの結果についてご意見をいただきたい。 ○ 中身をみると、「啓発した」「実施した」と並んでいるが、評価は結構厳しい。 □ 事業は実施しているが、成果として目に見えてわかるものがないため</p>

である。

- ◎ 成果をどこで見えるか。
- 実施した事業に対しては、B評価でも良いのかなと思う。
- 市刊行物の事業はC評価だが、市の刊行物の全てを誰かが見て確認しているのか。全てを見ている訳ではないからC評価という意味合いか。例えば、年間 100 市の刊行物があり、そのうち 30 しかチェックできなかったからC評価ということか。
- 具体的な数値は出ていない。各課が意識をして差別用語を使わないようにしていく必要はあるが、具体的にこうしなさいというのは示していない。マニュアルがある訳ではない。
- 具体的に何をしたのかがわからない。評価基準がわからない。
- 各課に対して特にヒアリングをした訳ではなく、各課から出てきた回答をそのまま整理した状態である。そのため、どういう基準で、その評価をつけたのかがわからない。
- 「問題に取り組む」という目標にしているだけで、問題の解決が目標ではない。変な目標の立て方だと思った。事業内容のところに「何々のため」と書いてある場合には、それを目安に評価したのかなと思う。
- 本来は、目標が達成できれば評価される。
- 目標が書いていない。
- ◎ 事業によっては記載している。No 1の事業のように 30 企業という目標値があり、それを達成しているかどうかで評価している。
- 目標値を設定しているのは重点事業のみである。
- 数値設定が不可能な事業もある。
- ◎ 事業をやっているのになぜC評価なのか。実際にどの程度のことをやっていてC評価なのか。そういう繋がりから、次の具体的な目標を出しても良い。
- 30 年度と 31 年度を比べると、殆どの事業で目標が変わっていない。C評価やD評価の事業でなぜ変えないのだろうと思った。事業を続ければ効果を期待できるのであれば、評価が低くても来年度と目標が同じなのはわかる。ただし、事業を続けても効果が出ないかもしれないのに、来年度の目標を同じにしている事業もあると思った。
- 数値化できる目標とできない目標がある。そういう状況の中で、どのように評価していくのが問題である。市民委員の意見として、評価の仕方をもう少し考えましょうという意見を載せるべきだと思う。
- そこまでしなくても、評価をする視点を評価基準に加えたら良いのではないか。
- 継続が必要な事業もあるので、そういった事業については「引き続き続ける」というのはあり得る。事業評価が大変なのは非常によくわかるし、数値目標を立てられない事業があるのもよくわかる。武蔵村山市の場合、割と謙虚に自己評価しているという印象である。
- ◎ 割と評価基準が曖昧な事業にC評価が多い印象がする。事業としてはできていてもC評価になっている場合がありそうだ。
- そこでB評価を出して、C評価からB評価になった成果を出せない場合が多いと思う。事業としてはやっているけどB評価はつけづらいのでC評価にしている事業はあると思う。A評価からE評価までの評価基準も自己評価しづらいところがあるかもしれない。
- この評価基準だと現状維持というのは、どこにあたるのか。
- ◎ C評価だと思う。
- 実施しているだけで十分な事業もあると思う。
- 決して良い成績ではないが、現状維持を評価する基準があっても良い

かもしれない。

- No 4の事業をみると、役所等でパネル展を開催したが、他の主催イベントでは実施しなかったからC評価。目標のところには「様々な機会」とあるが、それなら役所内とそれ以外の場所で開催するという基準にしておけば、評価は簡単だと思う。回数が必要であれば、回数を設定しても良い。市内であろうがそれ以外であろうが、やったことを評価するのであれば、それはそれで良い。もう少しわかりやすい評価方法を考えた方が良い。
- その上で、前年より回数を増やすとかの目標を設定すると良い。
- ◎ A評価やB評価については、良い結果が出ているのであれば、もう少し目標を高くしても良いのではないか。
- あまりにも高い目標を掲げても現実的ではない可能性もあるのではないか。  
例えば、A評価だったので、その先さらに高い目標を立てると、その講座の質を上げたり、回数を増やさないといけなくなるが、果たしてそれを続けることができるのか。
- こういう問題は、達成したら終わりではなく、おそらく永久に達成できないことだから、永久にやり続けるしかない。また、次から次へと新しい課題も出てくる。A評価がついても、次の課題は出てくる。
- ◎ 基本目標2はどうか。
- 性の尊重のところだけがC評価とD評価である。
- ◎ ふれあいセンターでもやれる講座の数は年間で決まっているので、全てやることはできない。できる年があったり、できない年があるのは、仕方ない。ただし、重点事業の評価が低いというのは、少し寂しい。
- ◎ では次に進めたい。

—事務局から説明—

- ◎ 基本目標3と基本目標4について、何かご意見はあるか。
- 待機児童を減らすという文言がどこにもない。
- 第三次計画でも事業の中には待機児童という言葉は入っていない。個別に目標を立てたときに、待機児童という言葉が出てきている。
- 待機児童を減らすという言葉は、どこかに目に見えるようにしておいた方が良いのではないか。
- 女性の活躍を推進するのであれば、子どもはどこかで保育しなければいけなくなる。保育園や幼稚園が足りているのであれば良いが。
- 武蔵村山市は待機児童がゼロだという話は聞くが、実際はどうか。選り好みをして入らないというケースはあるようだが、入ろうと思えば入れる状態だという話は聞いた。
- 充実しているのであれば良いが、入れておいても良いのでは。基本目標1に待機児童は入るだろう。
- ◎ 検討する。
- E評価の事業がある。
- 市内事業所に対しては、昨年度、アンケートを実施した。その企業に対しては、今後、ワーク・ライフ・バランス等を含めて情報提供をしていくことを伝えているので、そこから繋がりが生まれてくると考えている。
- それを活かせるとうい。また、東京都の労政事務所と共催することも考えられる。
- ◎ 商工会と連携することも考えられる。他にどうか。
- この市民委員会に企業からの代表はいないのか。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 商工会に加入はしているが、代表ではない。</li> <li>○ 今後、委員になってもらうことも考えられる。</li> <li>○ そういう人にも参加してもらうと、多少ルートが広がる。</li> <li>◎ 他にどうか。細かいところを見ればキリがないが、一番は目標の立て方をもう少しわかりやすくして欲しいということだと思う。次回以降、そのあたりを具体的に出していただけると良い。</li> <li>● 重点事業の中で目標を達成できていないものが散見されるので、できなかった理由を記載しておいた方が良い。</li> <li>○ 協働推進課が一番厳しく自己評価をしている。</li> <li>● 何ができていないのかがわかることを一番評価したい。</li> <li>□ 皆さんからいただいたご意見をもとに事務局でまとめていきたい。</li> <li>□ 今後の日程については、12月にパブリックコメントを実施する。その後の対応について、こちらの会議でお話しをさせていただきたい。1月11日以降で調整がつく日を次回の会議の日としたい。</li> <li>◎ 今年度の最後の会議の日か。</li> <li>□ 予定では次回が最後だが、3月に完成した計画を見ていただくことはあるかなと思う。</li> <li>◎ 20日はどうか。 (一同、異議なし)</li> <li>□ それでは、次回は1月20日の午後7時からお願いしたい。</li> </ul>
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 [ ]	傍聴者： _____ 0 人
-----------------	---	----------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____ ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____ )
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242 )
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)